

北海道における 令和元年産雑豆の生産状況について

(公財) 日本豆類協会

北海道庁では、営農指導を的確に行うため、5月15日から10月15日までの間、毎月2回、農作物の生育状況を調査した結果を公表しています。

以下に、各時点において公表された①気象概況と作物全般の生育状況、②小豆と菜豆（金時）の生育状況等について紹介します。

1 気象概況

1) 5月

5月の後半は、期間を通じて高気圧に覆われ、晴れの日が多く、かなり気温の高い日が多かった。

5月全体としては、平年より気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多かった。

2) 6月

6月前半の気象は、高気圧の張り出しで晴れた日が多かったため、平年より気温は高く、降水量は少なく、日照時間は平年並で経過した。6月中旬以降は低気圧や気圧の谷の影響により全道的に雨が降った。

6月全体では、平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間も平年並だった。

3) 7月

7月前半は、気圧の谷の影響で雨が降った日もあったが、期間の中頃には高気圧の張り出しにより晴れた日もあった。気温は平年並で、降水量は少なく、日照時間も日本海側を除き、少なかった。

7月全体の気象は、気温は平年より高く、特に下旬は、各地で真夏日や猛暑日を観測したものの、降水量、日照時間は平年より少なかった。

2 小豆と菜豆（金時）の生育状況等

1) 6月1日現在

小豆のは種作業は、平年並に終了した。菜豆（金時）のは種作業は平年並に進んでいる。

2) 6月15日現在

小豆の草丈は平年と比較して「長い」、葉数は「平年並」となっており、生育は平年並に推移している。

菜豆（金時）の草丈は平年と比較して「長い」、葉数は「やや多い」となっている。播種作業は、平年並に終了し、生育も平年並に推移している。

3) 7月1日現在

小豆の草丈は平年と比較して「長い」、葉数は「多い」となっているが、生育は平年並に推移している。

菜豆（金時）の草丈は「平年並」、葉数は平年と比較して「多い」となっており、生育は平年並に推移している。

4) 7月15日現在

小豆の草丈は平年と比較して「やや短い」、葉数は「平年並」となっており、生育は平年並に推移している。

菜豆（金時）の草丈は平年と比較して「やや短い」、葉数は「平年並」となっており、生育は平年並に推移しており、開花も平年並である。

5) 8月1日現在

小豆の草丈は平年と比較して「短い」、葉数は「平年並」となっており、生育は平年並に推移しており、開花も平年並である。

菜豆（金時）の草丈は「平年並」、葉数は「やや少ない」となっており、生育は平年並に推移しており、開花も平年並である。



エリモ（8月7日撮影）



手亡（8月7日撮影）